

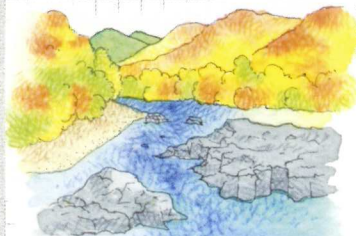
長門峡

Hiking Map

■ 総距離 / 約5.5km
(道の駅長門峡～竜宮淵)
■ 所要時間 / (片道) 約100分
(あくまで目安)

- 12** 竜宮淵 (りゅうくうぐす) 15分 0.6km
- 11** 紅葉橋 (もみじばし) 8分 0.5km
- 10** 下和留淵 (しもわるせ) 10分 0.5km
- 9** 佳景淵 (かけいぶち) 12分 0.6km
- 8** 鈴ヶ茶屋 (すずがちゃや) 3分 0.2km
- 7** 瀬淵 (かわうそぶち) 3分 0.2km
- 6** 大谷淵 (おおたにぶち) 10分 0.7km
- 5** 舟入 (ふないり) 8分 0.4km
- 4** 榎ヶ淵 (かやがぶち) 8分 0.4km
- 3** 千瀑洞口 (せんぱくどうぐち) 20分 1.1km
- 2** 丁字川出合淵 (ちようじがわであいぶち) 3分 0.3km
- 1** 道の駅「長門峡」

長門峡について
萩市出身の植物学・地質学者、日本画家の高島北海(1850～1931)によって命名。
●大正12年(1923)国の名勝に指定。
●昭和32年(1957)県立自然公園に指定。



2 丁字川出合淵
(ちようじがわであいぶち)
名前のとおり、ここで阿武川と篠目川が合流し、一本の川となって流れはじめます。



遊歩道案内図

●長門峡ガイド(要予約・有料) 地元ガイドの説明のもと、長門峡を歩いてみませんか? 長門峡観光協会 TEL.083-955-0115



無数の岩が点在し、その間を激流が水しぶきを上げながら流れる様子が見どころ。景観も良く、河原へ降りることもできます。山側には、東屋もあり休憩におすすめ。まずはここを目指して歩いてみましょう。



昔話で、化粧物の大カワフウソがこの地で獅子に退治されたという言い伝えのある場所。秋には、対岸に彩豊かな紅葉を見ることができます。



川の流れのすぐ横で鮎料理や、うどん、ぜんざい、甘酒などが楽しめます。不定休。

6 大谷淵
(おおたにぶち)

広々とした大きな谷にあり、静かで穏やかな淵だけに、川面に映る景色が美しい。

5 舟入
(ふないり)

舟が停泊できそうな地形だったことからこの名前がついたそうです。風のない天気の良い日には、空と紅葉が川面に映り込み、絵に描いたような美しい景色が楽しめます。



対岸から突き出した、特徴のある大きな岩があり、淵が大きくカーブを描いている。対岸の岩山は、迫りくるような迫力があります。



深い淵の両岸の、ごつごつとした岩肌が印象的な場所。秋の紅葉が美しい。



12 竜宮淵
(りゅうくうぐす)

ゆったりとした淵に色とりどりの紅葉が映り込み、竜宮城を思わせるようだったことから、この名前がついたそうです。川面には、無数の鯉が優雅に泳いでいます。

Viewpoint 11 紅葉橋
(もみじばし)



第一断魚淵の上をまたぐ、真っ赤な吊り橋。どの季節の景色にもよく映えます。橋の上から見下ろす激流は、足がすくんでしまうほどの迫力!

中原中也と長門峡



「冬の長門峡」は、中原中也が長門峡を訪れた時、心の様子を描いた詩です。蜜柑と杯をかたどった詩碑が長門峡の入り口に建てられています。

冬の長門峡

長門峡に、水は流れてありにけり。寒い寒い日なりき。われは料亭にありぬ。酒酌みてありぬ。われのほか別に、客とてもなかりけり。水は、恰も魂あるものの如く、流れ流れてありにけり。やがても蜜柑の如き夕陽、欄干にこぼれたり。あゝ! — そのやうな時もありき、寒い寒い日なりき。